

2014~2015

会 報

R I 2720地区



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 2820回
2014年11月14日
第 18 回 例 会
毎 週 金 曜 日

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

2014-2015年度 R I 会長
ゲイリーC.K. ホアン

会報編集 石蔵尚之委員長

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

第2回 クラブ協議会

11月 ロータリー財団月間
点 鐘 鳥井正徳会長

歌 唱 ヲグリーガー 山田仁法委員長
国 歌 「君が代」
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 水野虎彦[♯] ough委員

会長の時間 会長 鳥井正徳

本日は、クラブ協議会を予定しておりますので、短い時間に終わらせていただきます。

クラブ協議会には、ご存じのようにクラブのプログラムと活動について協議する場がございます。各委員会の活動がどのような計画でどう実施されているか、又、今後の取り組みについてお互い理解し合う大切な場でございます。クラブの葉を開いていただくと理解が深まると思います。よろしくお祈りいたします。

一つだけお願いを申し上げます。来る22日に予定されておりますIMへの出席希望が少ないようです。中央ロータリーも張り切って計画され、先日ガバナー補佐もお願いに参られました。特に3年未満の会員の方はぜひ出席され、近隣5クラブとの親睦とロータリーの知識を広めていただきたいと思います。これはメイクアップとなります。

幹事報告

幹事 有馬宏昭

【11/7理事会の承認事項】

- ①竹長一幸氏の入会の件
- ②「韓国伝統芸術舞踏IN人吉講演」人吉市実行委員会より後援依頼の件

【連絡事項】

- ①国際ロータリー2720地区野田三郎ガバナーエレクトより地区委員会委員推薦のお願いが届いています。締め切り12月5日ガバナー事務局まで。→鳥井会長にお渡しします。
- ②国際ロータリー第2720地区堀智彰地区補助金委員長より、地区ロータリー財団アンケートが届いています。→宮原ロータリー財団委員長へ
- ③人吉市オープンゴルフ大会実行委員会より11月3日開催の大会の協賛の御礼が届いています。
- ④熊本県環境生活部環境局廃棄物対策課長より平成26年度廃棄物不法投棄等合同調査実施のお知らせが届いています。
日時：平成26年11月19日(水)
午前10時～正午
場所：県内一斉に実施
→岩井環境保全委員長へ

【回覧物】

- ①2720地区ガバナー事務局よりジャパン・ロータリーデーin東京の案内
→申し込みはガバナー事務所へ
- ②「初期ロータリーを顧みて」コミック版のご紹介⇒直接申し込みが届いています。
- ③人吉RACより10月の会報が届いています。

【例会の変更及び取り止め】

- 熊本南RC12/1→18:30～年忘れ家族会のため
ホテル日航熊本「阿蘇」にて
〃 12/22、12/29→定款に基づき休会
〃 1/5→1/6 12:30～新春合同例会に変更
- 八代南RC12/2→18:30～総会・ファミリー忘年会の為
八代グランドホテル
〃 12/23→定款に基づき休会
- 宇城RC12/5→12/4 18:30～忘年例会のため
松橋ホワイトパレス

12/26→定款に基づき取止め
 また、例会欠席のご連絡は事務局に当日10時30分迄です。1つの例会で5名の無届欠席があると1年間では40万円が無駄になってしまいます。何卒電話1本入れていただきましたら幸いです。耳が痛い話で申し訳ありません。以上で幹事報告終わります。



【贈呈】

**Multiple 2
 Paul Harris Fellow
 有村隆徳会員**

**Paul Harris Fellow
 浅野 強会員**



出席率報告

委員長 村山能史

本日の出席率		
会 員 数	63名	78.95% 10/31例会取止め
出 席 免 除	6名	
欠 席 者 数	12名	
出 席 者 数	45名	

- *届け出欠席 北・齊藤・友永・延岡・中川・井手・堀川
 中村・馬場・尾上・外山・石蔵
- *出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 山本, 高山, 丸尾, 赤池

【ニコニコ箱委員会】 委員長 平田フク

- ・有村会員 ポールハリスフェロー2回目の受賞、ありがとうございました。
- ・浅野会員 先週は無届欠席をしてしまいました。たいへん申し訳ありませんでした。初めてのポールハリスフェロー賞をいただきました。

【R財団委員会】

- ・宮原会員 今月はロータリー月間です。会員皆様のご寄付を宜しくお願いいたします。
- ・浅野会員 同上

【米山記念奨学委員会】

- ・葉山会員 後程お願いしますが、米山記念奨学委員会への寄付を宜しくお願いします。今年の特別寄付は目標40万です。米山カードも累計に加算されます。

点 鐘 鳥井正徳会長

第2回 クラブ協議会

R情報委員会 (片岡啓一副委員長)

本日は、中川委員長が欠席で、原稿を貰っておりますので副委員長の片岡がロータリー情報委員会の報告を致します。

方針は前のクラブ協議会で発表しましたので、計画実績を報告いたしたいのですが、新会員の入会がまだありませんので、オリエンテーションはまだ行っていません。先日の理事会におきまして1人候補者が上がって来ている様ですので楽しみにしております。

地区からの情報は、逐次、中川より報告させて戴いております。又、計画は来年の1月(ロータリー理解推進月間卓話)、2月(国際ロータリー創立記念日卓話)、5月(人吉ロータリー創立記念日卓話)で計画を致しておりますので期待をしてください。又、会報へのR情報知識の掲載スペースがあれば早めにお知らせ頂ければ、原稿は、担当委員さんから提出させて戴きます。宜しくお願いいたします。家庭集会は、私の父の葬儀(9月)がありがたさで貰っております。申し訳ありません。又、赤池会員も健康がすぐれられない為、来年、落ち着いてから、我家で(中川宅)開催を致します。

今週12日(水)は、今月11月26日(水)~28日(金)、東京で開催されるRIロータリー研究会の為、日田市での実行委員会に出席してまいりました。4泊5日で、RI杉谷理事主催でRIゲイリーC.K.ホアン会長参加(全国のガバナー・パストガバナー・ガバナー補佐その他約560名参加)のロータリー研究会にスタッフとして地区から行ってまいります。ロータリーについてのお土産が出来るように頑張ります。

最後に、今月22日(土)、第6グループのIM(インターシティミーティング)が開催されます。3年未満の新会員さんたちは義務出席と、私たちは、常に先輩方から言われ続けてまいりました。参加されると思いますが、特に、新会員さんは参加戴きますようお願いいたします。以上です。

親睦委員会 (下田文仁委員長)

親睦委員会では会員間の親睦、連携を深めるため、7月に新旧理事役員歓送迎会、8月に納涼家族会を開催しました。特に、納涼家族会では、北

会員や大野会員と企画を練って準備し、岩井会員にカキ氷のイチゴの花びらを必死に作っていただき好評でした。たくさんのご家族の方に参加していただき、また、ローターアクトの皆さんにもお手伝いいただき楽しい家族会になりました。

ゴルフ愛好会の活動に関しては、北副委員長に取りまとめをお願いしてスムーズな運営をしていただいております。

毎月の結婚祝いについては、親睦委員みんなで記念品贈呈をしています。少しバタバタした感じがします。もう少し落ち着いてお祝いができるよう工夫したいと思います。

今後の予定です。まず、夫人の集いが開催されます。11月27日(木)11:30からあゆの里での開催です。約30名の方が参加されるとのことです。忘年会は12月19日です。漆野委員と私で担当します。新年会は1月9日、岩井委員が担当です。この時は安達会員の娘さんに曲を披露していただきたいと考えています。確定したらお知らせします。賀寿会は6月5日です。担当は北副委員長と私です。

これからの様々な催しが楽しいものになるよう工夫しながら企画していきますので、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。そして多くの方のご参加をお願いします。

SAA (山田仁法委員長)

鳥井年度が始まり早4ヶ月が過ぎました。前年に新年度の委員会構成が決まりSAAを受けたとき、鳥井会長から依頼されたことは、「例会雰囲気静かに進行させたい」とのことでした。それを受け、「葉」の計画の一番目に掲げました。少々強い語調となっておりますが、そこところは意を汲み取ってお許しください。現在は会員皆様のご協力によりとても静かな例会が続けられていることに、深く感謝しております。また委員会の皆様の協力にもお礼を申し上げます。

SAAを拝命したときには自分には自分でも不安でした。しかし受けたからにはと思ひ、年度替わりの一月位前から例会の準備状況や、音響・映像機器の取り扱い方を教わりました。それでも機器操作には不安が残りました。

そこで委員の皆様が集まっていたいただき、また当ホテルのスタッフの方にも参加していただき教を乞いましたところ、私を除く4名の方は日頃から機器類の取り扱いに精通しておられ、即座に理解されました。これで「安心して新年度を迎えることができる」と、胸を撫で下ろしました。今は事務局より資料等を貰ってそつなく準備しています。

そのほか村田会員には、ネームプレートケースの修理・取っ手の取り付けをしていただきました。理由は、8月1日のガバナー公式訪問合同例会のとき、鍋屋にケースを運ぶ際とても苦勞をしたとのことで、即修理をされました。ホテルのス



タッフの方も、持ち運びがとても楽になられたと思っています。

今後会員の皆様で、「こうしたら良いのでは、こうして欲しい」と言うことがありましたら遠慮なく言ってください。そのように致します。

また例会時の席順は、時折同じ委員会の方達を配しているときがあります。お気づきでしょうか。今後も続けたいと思っています。

家庭集会は実施しておりません。近いうちに相談してから行います。

プログラム委員会 (水野虎彦委員長)

10月9日ひまわり亭において、家庭集会を開き、委員会の方針・計画など、ご理解を頂いたところです。また、委員全員に出来る限り1か月に1回程度はプログラムの打合せ、及び例会の進行を受け持つてもらう旨ご了承頂きました。

今年度18回の例会を終えて、反省点を述べます。外部卓話において、時間の超過がみられました。全て私の不徳の致すところであり、今後は時間配分に厳重に注意を払って参りたいと思います。また今年度、食事の時間をとれるときは極力とってみました。それによって例会中の私語は減少したのではないかと思います。これについては私の感覚上での評価で、数値に表せませんので定かではございません。私語が減ったこともですが、さらに例会中の携帯電話の呼出し音について今年度は皆無であったように思います。皆様のご協力、本当に感謝申し上げます。

ニコニコ箱委員会 (平田フク委員長)

まだ家庭集会をしておりませんが、早々に計画をします。実行報告ですが、先週の例会までのスマイル金額の合計は351,010円となっております。このままですと、105万円くらいになります。今後皆さまにどんな小さな事でもニコニコしていただければと思います。

出席委員会 (村山能史委員長)

会員の出席率の向上と無届欠席をなくすことを方針としておりますが、今後委員会全員で協力し合い取り組んでいくためにも、早々に家庭集会の実行を考えております。今後も皆様に地区行事や他クラブ例会への積極的な参加をお願いしたいと思います。

会員組織増強委員会 (有村隆徳委員長)

委員会メンバーは年度初め5名でございましたが退会により4名になりました。8月に入会予定

でございました方が残念ながら時間がとれないとのことでまだ入会に至っておりません。なんとか本年度中に入会してもらえよう努力したいと思います。

それから、もう1名の予定者につきましては皆様の賛同を得て、オリエンテーションの手續きに入っておりますので今月か来月にはご入会いただくこととなります。しかし、目標の会員数70名はまだ遠いようです。

ロータリアンからの紹介とロータリアンの水面下の推薦という方法が入会率が一番高いということでございます。候補者の推薦をいただければ委員会でお会いして勧誘したいと思っておりますので、ぜひ宜しくお願いいたします。

職業分類委員会（浅野 強委員長）

計画で既存会員の職業分類を必要により見直し修正を理事会と協議する。としました。

7月22日付けで、変更有無のFAX回答をお願いしました結果、4名の方より見直し依頼が出ましたので理事会で協議いただき、承認を得て9月5日付けで更新を行いました。

有馬会員 火災保険→保険代理業へ
村山会員 洗濯業→リネンサプライ業へ
山賀会員 冷凍冷蔵業→冷蔵・製氷業へ
浅野会員 電気部品製造業

→電力制御装置製造・販売へ

新規入会の方の職業分類については2名の方の分類審査を行っています。現時点では未入会ですので入会時報告致します。計画の②③は後半取り組みたいと思っています。

会員選考委員会（堤 正博委員長）

方針・計画は葉のとおりです。会員選考委員会はパスト会長4名の委員会です。8月10日に家庭集会をいたしました。4名全員集まっていたいただき、きっちりした選考を行なうよう努力することを申し合わせました。8月に本年度はじめての候補者の推薦がありました。委員の皆様にお諮りしまして速やかに理事会に問題なきことを報告しました。会員組織増強委員長より話がありましたように、まだ入会されていないようですので是非入会されますよう推薦者の方増強委員会の皆様のご努力を期待します。

10月に二人目の候補者の推薦が上がって来ました。人格・識見とも申し分ない方として理事会に報告いたしました。近々入会されると聞いています。ご入会を心待ちにしています。これからもどんどん素晴らしい推薦を期待しています。

クラブ広報委員会（和田栄司委員長）

○年度の初めに会長以下5名の会員と共に諸官庁及び報道機関に表敬訪問を行ないました。

○ホームページの更新は、渡辺会員事業所へお願



いして新年度のページが出来ました。

○紙のデータを電子記録のデータへ変換する計画をしておりますが、予算3万を組んでおり、渡辺パスト会長のご協力のもと進めていきたいと思っております。

会長が考えておられる、地元の方々へロータリークラブを理解していただくために何か考える、このことには、健康・つくしいばら・サイクリングロード・お祭り、をキーワードに実行できればと考えております。しかしなかなか考えが付かなく困っているところです。

雑誌委員会（板井英朗委員長）

葉の方針に掲げましたとおり、ロータリーの活動を広く認識していただくため、公共的な場所に「ロータリーの友」を配布致しました。配布先は警察署、小学校、中学校、病院等です。部数が少ないので多くのところには行き渡りません。又、クラブ例会のプログラムにおいて、毎月「ロータリーの友」の紹介者を手配し、会員（特に入会3年未満）の教化に雑誌を利用することを奨励してまいりました。今までの紹介者は、7月村田会員、8月塚本会員、9月川越会員、10月大野会員にお願いしました。11月は馬場会員にお願いしております。今後の「ロータリーの友」紹介者を“募集中”です。宜しくお願い致します。

クラブ会報委員会（石蔵尚之委員長）

委員会の会務報告など会員の皆様から頂く原稿は、そのほとんどがメールなどを通じてデジタルデータとなっております。ご理解に感謝申し上げます。一方、外部卓話におきましては度々、原稿をご用意されていないことがありました。そこで、卓話を依頼される際は卓話者に「原稿提出」のお声かけを今一度お願いします。なお、会報の内容やレイアウトは常に見直して参りますので、今後もお意見などお聞かせいただければ幸いです。

職業奉仕委員会（浦田繁喜委員長）

当委員会の活動方針並びに委員構成については第1回クラブ協議会でお話しいたしました通り葉記載の通りです。

○現在までの委員会活動状況

①9月13日(土)職業奉仕セミナー(熊本地区)が富合町のアスパル富合で行われ、鳥井会長と二人で出席しました。「職業奉仕を考える」というテーマでの研修会でした。今までに無いような

内容の濃い会合でした。詳細については会報9月19日付けの「会長の時間」に詳しく発表されていますので、出来れば再読をお願いします。

②家庭集会を9月26日ひまわり亭にて行い、今後の活動計画の実務について話し合いを致しました。

③10月の職業奉仕月間には、前田春一郎ハローワーク所長に「最近の雇用失業情勢と若年者雇用支援について」のテーマで卓話をして頂きました。

社会奉仕委員会（片岡啓一委員長）

本年度、当委員会は二つの活動を計画しました。一つ目は、会長の本年度方針に沿って、楽しい例会のための移動例会を計画。10月25日(土)午後6時半と、曜日・時間を変更して、くま川鉄道「田園シンフォニー」の支援、そして地域貢献の一助として実行しました。例会日変更の影響もあり、出席人数が多少減りましたが、くま川鉄道の深水様の説明もあり、豪華な弁当とアルコールで盛り上がり、楽しい例会になりました。

もう一つの活動は、「人吉ロータリークラブ奨学金制度」の設立です。規則等の原案を作成し、理事会の承認を受け、人吉高校・球磨工業高校を訪問、制度内容を説明致しました結果、大変喜んでいただき、賛同を得ることが出来ました。今後クラブの継続事業として、末永く続いていくものと期待しております。本年度は4月の第一回支給から始まる予定です。

環境保全委員会（岩井和彦委員長）

8月花火大会後のクリーン作戦に会員多数参加をいただき実行いたしました。来月12月の例会に卓話を予定しております。これから家庭集会を開き、計画を随時行なってまいります。

地域発展委員会（村田武澄副委員長）

地域発展功労者表彰、卓話、という方針・計画をたてた中、さくら会、鉄道案内人（JRのOBの方）、観光客の増加で注目される球磨川ラフティング協会、大畑駅を愛する友の会保存会、国宝青井神社かたりべの方々、この中から4月～5月の間で行ないたいと思います。

青少年育成委員会（本田節委員長）

まず、ロータリーを代表して人吉市宣少年育成市民会議に出席しております。10月14日には家庭集会をロータリー委員会と合同開催、アクト会員も参加していただき、総勢14名で充実した交流と意見交換が出来ました。

そして、本日11月14日14時より東間小学校においてオペラコンサートが開催されます。“音楽を通じた心の豊かさプロジェクト”として地元の小

中学校へ出前音楽会です。より充実した活動をするために関係団体と連携して参りたいと思います。

ロータリーアクト委員会（安達玄一委員長）

今年度のロータリーアクトは10名からのスタートでしたが、9月に1名10月に4名入会して、現在15名で活動しています。先月は延岡副会長と尾上会員からのご紹介で2名の入会がありました。お二人には歓迎会まで参加戴き有難うございました。ただ、この2年で7名の卒業が控えていますので会員増強と会員のレベルアップを継続するように努力したいと思っています。

現在のアクト例会にはロータリーから鳥井会長はじめ多数参加戴いており、ニコニコ箱へも多くのご協力を戴きアクト活動費に十分役立たせて戴いています。アクト例会は、いつも参加出来る会員に限られていて仕事で参加できない会員と今後どうやって運営していくかが今後の課題です。なおアクトの例会報は、菊池幹事が遅れずに作成してロータリー事務所にもメールで届けていますので、皆さんにアクト活動を知って戴き、今後の活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年からはまったロータリー家族清掃を12月7日、日曜日午前9時より堤病院駐車場集合で行いますので多数のご参加をお願いいたします。

国際奉仕委員会（中島博之委員長）

一昨年はベトナム、昨年はタイ国へ援助をしましたので今年は39年の交流ある韓国慶山クラブ創立40周年記念式典に参列することだけにしています。

慶山クラブの方から案内方々40周年記念には植樹をしたいので樹種と金額を連絡してほしいと言ってきましたので、協議して樹種はそちらにおまかせ、金額は15万円で済ませてくださいと返事しました。式典期日を知らせてください式典参加を呼びかけしますのでとお願いし、再三再四催促するも連絡なし、やっと1月23日(金)式典、24日植樹披露との連絡だけあり、式典の時間・会場などの連絡なしでスケジュールの立てようなしの状態です。

参加者20名位で2泊3日の旅費、宿泊費（ツイン）で1人約8万円見当で参加の検討してください。次々年度は人吉RCの60周年に当たりますのでそこら辺りも考えて、今回は20名位は参加できますように願っています。詳細が分からぬのに催促だけで申し訳ありませんが、慶山クラブ訪韓が未だの方、10年後の50周年には自信のない方、は是非の参加をお願いいたします。連絡あり次第逐一お知らせいたします。

米山記念奨学委員会（葉山稔洋委員長）

葉、計画の1は、先月の米山月間に李秋実君による卓話が終了しました。計画の2の個人寄付においては、確定しております。計画の3の、候補者リストが作成出来ましたので、これからそれぞれの方にお願いに上がりたいと思います。

また、米山カードの寄付も特別寄付に加算されますのでコツコツと地道にお願い致します。

家庭集会は、10月28日我家で鳥井会長、延岡エレクトをはじめ、有馬幹事と委員会メンバー4名（愛甲会員を除く）の計7名で行いました。

最後に家庭集会については、iPadの活用状況を見てからとっていて、まだ実現してません

ロータリー財団委員会（宮原和広委員長）

11月のロータリー月間にちなんで卓話かDVD鑑賞を計画にあげておりましたが、私の不手際でプログラム委員会へのアクセスが遅かったために12月に時間をいただいております。その際は宜しくお願い致します。

地区補助金の活用につきまして現在模索中です。最後に、今月のロータリー月間を理解していただくと共に、会員皆様のあたたかいご寄付を宜しくお願い申し上げます。

閉 会



～R情報委員会よりミニR情報～

4つのテストの由来



(Herbert)

今から60年以上も前の大恐慌のさなか、一人のロータリアン ハーバートJ. テーラー（ハーブ）が4項目からなる簡明な倫理指針を考案しました。この指針は、窮地にあった彼の会社を救うのに役立ったのです。この指針が表現していた内容や信条はまた、ほかの多くの人たちに対しても、倫理的羅針盤を提供することになりました。やがて、国際ロータリーによって採用され、広く知れ渡ることになったこの四つのテストは、今日では、ロータリーの基本理念の一つとなっています。今世紀におけるロータリーの最も素晴らしい声明の一つと言ってもよいでしょう。

社の倫理訓について構想をめぐらせたハーブは

最初、およそ100語からなる文章をしたためましたが、これは長すぎると判断しました。そこでさらに推敲（すいこう）を重ね、それを7つの項目にまとめたのです。四つのテストは当初は、七つのテストだったのです。しかし、これでも長いと考えた彼は、それを自問形式の4項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストとなりました。このようにして、「言行はこれに照らしてから」の四つのテストが誕生したのです。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- 1) Is it the TRUTH?
- 2) Is it FAIR to all concerned?
- 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned?

1942年、当時の国際ロータリー（R I）理事のシカゴのリチャード・ベナー氏が、ロータリーもこのテストを取り入れるべきだとの提案をしました。R I 理事会は、1943年1月にベナー氏の提案を承認し、四つのテストを職業奉仕プログラムの一つの構成要素としました。もともと、このテストは、今日では四大奉仕部門のすべてにおける不可欠の要素として認識されています。

ハーブは、ロータリーの創立50周年記念にあたる1954-55年度、R I 会長に就いた時、四つのテストの著作権をR Iに移譲しています。

ロータリージャパン

The ROTARIAN 1999年10月号

ロータリーの友2000年1月号掲載

ロータリーの友2003年1月号掲載

より抜粋